

# 令和2・3年度 第2回 理事会議事録

令和2年9月15日（火）20：00～22：30（Web会議）

出席者 福興和正会長、浅井英世、川嶋良明、藤岡 治、各副会長

麻生 伸、阿部博章、石谷保夫、稻村直樹、大島清史、大橋一博、杉山貴志子

中澤 宏、永田博史、野上兼一郎、吉村 理、猪原秀典、中川尚志、各理事

伊東祐久、岩佐英之、各監事、事務局平間妙子 （計20名）

## 会長挨拶

今回より発言内容は各委員会でまとめて庶務委員会に提出してほしい。

日耳鼻との合同委員会が始まっている。ご多忙とは思うがそれぞれの委員会で活躍をお願いしたい。また、政府よりコロナ対策の今年末までの时限立法として新たな助成金が閣議決定された。

## 報告事項

### 庶務委員会（大橋理事）

令和2年度庶務委員会（令和2年9月9日）

- 令和2・3年度第1回理事会議事録は原案通り承認された。
- 令和2年8月30日時点での会員数を報告した。

A会員4,558名 B会員2,719名合計7,277名である。

- 封筒等、レターへッドに関する報告をした。業者は日耳鼻との実績、見積もりが安価などの理由で朝陽会に決定した。
- 封筒等の色はブルー系に決めた。今後は庶務委員会で業者と打ち合わせをして決定する。

### 広報・涉外委員会（中澤理事）

#### 1. 第一回広報合同委員会

- (1)合同委員会の目的について。(2)取り組むテーマの確認。(3)取り組んでいる事：WGの目的と説明 (4)医会広報委員会で行っていること等について協議した。

#### 2. 広報・涉外委員会

- ホームページ開設から現在までの報告をした。

7月にはほぼ初期設定が終わり、ホームページとして情報発信できるようになった。

- 改良点・全面的なリニューアルを基本とする。

①コンテンツの見直し ②会員ページを充実させる ③今年度中には更新を医会で直接変更できるようにしたい。

#### 3. 第一回日耳鼻涉外委員会。医会合同会議報告

日本臨床衛生検査技師会、日本理学療法士協会、日本言語聴覚士協会には、医会の委員も参加することになった。また、関連団体との合同委員会に参加するとすれば委員の増員も考える。

### 経理・会員福祉委員会（稲村委員）

令和2年4月1日から令和2年8月31までの会計報告がなされた。

### 地域医療委員会（野上理事）

- 7月20日から8月10日の間、診療所（無床・有床）のA会員を対象に行った第2回の新型コロナウイルス感染拡大に伴うアンケートを行った。

アンケート結果については既に臨床耳鼻科医会ホームページに掲載している。

- 保険収入は4月が底で、5月、6月と大分改善しているが、6月時点では50%未満が23.8%、60%未満が44.8%、70%未満が71.9%、80%未

満が87.2%、90%未満が96.2%と依然厳しい状況が続いている。

3. 結果については地域医療委員会で更なる解析を行っている。

収入の変化と各種処置・検査の関連、収入増に繋がりうる要素の検出、処置・検査の見直し、オンライン診療、電子決済に対する会員の動向等に付き検討し、新しい耳鼻咽喉科診療体系構築の手掛かりを探っている。

借り入れ、支援策（家賃、感染防止、慰労金）等、収入減に対する対策を行っているかどうか。解析結果がまとまった時点でHPに掲載予定である。

4. 第3回のアンケート調査を予定している。

5. 杉山理事よりの発言「アンケート内容につき、損益の前年度比があった方が逼迫性をより反映するのではないか？」

6. 日医のアンケート調査結果では損益状況について、一耳鼻咽喉科診療所あたり4半期減益額は平均790万円（月約270万円）である。

### 保険医療委員会（杉山理事）

#### 第一回保険医療委員会報告

1. 外保連・DPC小委員会

2. 企画・調査委員会

3. 外保連第22回記者懇談会（2020/10/04、2020/07/14）

(1) 7月30日開催の日耳鼻との合同委員会医会の報告を行った。外保連記者懇談会において、木村百合香先生が新型コロナ感染症蔓延下での耳鼻咽喉科診療における手術への影響、感染症対策等の講演を行い、窮状を訴え外保連ニュースにも掲載された。来年1月の全国会議でもコロナ禍の保険診療への影響に関するテーマを考慮中である。

(2) 藤岡副会長より「9月27日の全国協議会はWeb開催となり、人数制限により医会の先生方の参加が制限される事になった。来年度

は従来通り、医会の先生が参加できるようにしたい。」との発言があった。

### 学校保健委員会（大島理事）

#### 令和2・3年度第2回学校保健委員会会議録

1. 日本臨床耳鼻咽喉科医会学校保健委員会について

理事会では、当委員会の第一回の議事録を報告している。

2. 日本医師会学校保健委員会について  
まだ開催されていない。

3. 日本学校保健会について

(1) 事務局長が替わった。会長が替わり耳鼻咽喉科の担当の先生は変更無し。

(2) 「学校保健の動向」の原稿は朝比奈委員長が執筆。

4. 阿部理事より「今回の学校健診で鳥取県は口腔・咽頭は見ないと制限をつけて行ったが、県によっては一度健診を行ったら診てないところがあったとの教育委員会から指摘を受けて口の中を見るようにと条件を付けられたところがあったように聞いており、どちらのやり方が正しいのかが気になるところです。学校保健安全法に則ってコロナ下にあっても必ず全部診なくてはならないものなのでしょうか。」との発言があった。

### 学術委員会（浅井副会長）

2020年11月8日に開催される第1回日本臨床耳鼻咽喉科医会セッション（設立記念講演会）の領域講習セッション2の講師自見はなこ先生の肩書はこれまで厚生労働大臣政務官、参議院議員と記載していたが11月には政務官ではない可能性が高いので参議院議員とすることになった。また、新型コロナウイルス感染症対策のためにWeb聴講（2020年11月20日から12月4日）も併用するハイブリッド形式となったことを報告した。

## 医事問題委員会（阿部理事）

医事問題委員会です。令和3年1月23・24日に開催予定の令和2年度日耳鼻医事問題委員会ワークショップおよび全国会議に関して。会場のキャンセル料が発生してくる2か月前（11月中頃）までは現地開催を追求し、状況によってはWeb会議に切り替える方針だったが、全国会議における社会医療部の他の委員会がWeb会議や書面会議に切り替え、現地開催を現時点で追求しているのは、医事問題WSのみとなった。この状況を鑑み、社会医療部と横並びにする意味も含め、医事問題WSもWeb会議とすることになった。

## 会報委員会（石谷理事）

会報誌の印刷・出版依頼先、見積もり、仕様書等の報告でしたが、日耳鼻の会員情報が共同利用となった場合は直接会員に送付するように変更する。

## 協議事項

### 会員情報システム（福興会長）

会員名簿作成のために、日耳鼻の会員管理システムから共同利用の制度を利用して医会会員の情報（勤務先住所、電話番号、メールアドレス、日耳鼻会員番号）を取得する。

#### 経緯1. 各ブロックの意見（Q：総会等で一括して会員の同意を得る。）

日耳鼻会員管理システムの利用には異議がなく、利用にあたり個別に会員の同意を得ることが望ましい。全員の同意を得るためにには時間がかかる。会員が納得する丁寧な説明が必要である。これを機に会員である認識の向上を図る必要がある。などの意見があった。

#### 経緯2. 日耳鼻の事務局及び顧問弁護士のアドバイス

個人情報保護法上、個人情報の第三者への提供は本人からの同意が必要。ただ

し、情報の共同利用の場合は第三者提供にあたらず（法第23条第5項第3号 第三者提供の例外）、予め日耳鼻が以下の5点について本人に通知するか、本人が簡単に知ることができる状態にしておくことにより、臨床耳鼻科医会が利用可能となる。

- ① 共同利用をする旨
- ② 共同利用する個人データの項目
- ③ 共同利用者の範囲
- ④ 共同利用する個人データの利用目的
- ⑤ 個人データを管理する責任者の指名  
(法人の場合は法人名)

特徴：本人からの同意が不要、記録の作成、保管が不要 等

### 参考 今後の進め方

- ・9月15日 医会理事会  
日耳鼻の会員管理システムの共同利用の申請について審議・決定
- ・10月24日 日耳鼻企画会議  
「共同利用についての申請文」について意見交換
- ・11月8日 日耳鼻理事会  
「共同利用についての申請文」の審議・承認
- ・11月8日以降  
共同利用についての日耳鼻ホームページ掲載、臨床耳鼻科医会会員への周知、KCSとの打ち合わせ
- ・12月 共同利用開始（ホームページ掲載後1ヶ月程度）

## 庶務委員会（大橋理事）

### 1. 新規入会者の承認

新規入会者B会員が10名、賛助会員1名が承認された。

### 2. 入会規程の改正が承認された。

- (1) 入会申込書にはメールアドレスを確實に把

- 握するため、入会規程第2条7項にEメールアドレスを追加した。
- (2) 第4条2項に、「ただし、入会日は入会申込書が提出された日とする。」を加える。
3. 代議員選挙規定の改正が承認された。
- (1) 選挙権、被選挙権、代議員の定数に関して基準日に関してあいまいなところがあり、9月30日に統一した。
- (2) 埼玉県医会に関しては、9月30日時点での会費を納入した会員数で代議員数を定するとした意見もあったが、福井会長より今回は特殊事情があり、「会長と埼玉県医会とが協議し埼玉県の希望も考慮したうえで会長に一任する」ことになった。
- (3) 杉山理事より「各医会での代議員選挙についてはどの程度まで簡略化が出来るか？選挙は必須か？」との発言があった。

#### 経理・会員福祉委員会（稲村理事）

東日本大震災における宮城県耳鼻科医会に対する支援状況および他県の災害に対する宮城県耳鼻咽喉科医会からの支援について、および自然災害に対する支援を行う基準について報告があった。次回以降の理事会でさらに検討することとなった。

#### 会報委員会（石谷理事）

1. 広告募集について提出資料のとおり承認された。
2. 各都道府県医会長への寄稿依頼・会報寄贈依頼について承認された。
3. 新しい企画について、提出資料のとおり承認されたが、保険医療委員会と情報共有することとした。

次回理事会は10月19日までに開催する必要がある。